

ご挨拶～コンクリート技術大会へのお誘い

実行委員長 丸山 久一 (新潟 CEG 研究会委員長)

2011年3月11日に発生した東日本大震災は岩手・宮城・福島を東北3県を中心に未曾有の被害をもたらしました。特に福島県は、福島原子力第一発電所の事故による放射能汚染という人類史上最悪の被害を受け、風評被害も加わり厳しい状況が続いておりました。

コンクリート技術大会は、震災から約半年後の10月に福島県会津若松市において緊急開催からスタートし、第2回(仙台)、第3回(郡山)を経て、第4回目となります。過去3回の大会は「東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術」をキャッチコピーとして、全国から多くのコンクリート技術者の参加をいただき、大盛況のうちに技術者間の深い絆を確かめるとともに、被災地の復興に向けた貢献という形での足跡を残すことができました。

第4回コンクリート技術大会は、本年9月25日(木)～26日(金)の2日間、長岡市にて開催いたします。今回コンクリート技術大会を開催する新潟県は「新潟県中越地震」から10年目の節目の年を迎えます。東日本大震災の復旧・復興工事が本格化する中で、新たな視点からコンクリート技術を見つめ直す場を提供できればと考えております。コンクリート技術大会は、構造物の材料・設計・施工あるいは維持管理の実務に従事されている技術者を主体として、情報交換や技術交流の場を提供することに主眼を置いております。

技術講演会では33件の論文・報告、基調講演では原子力発電所事故の汚染物質処理やエネルギー政策、わが国の社会資本のあり方、中越地震から東日本大震災を踏まえた地域防災など、特別講演では郷土長岡を代表する「山本五十六」に関連した興味深い講演がなされます。さらに、パネルディスカッションでは、「中越地震から10年、これまでの活動と展望」の課題設定のもとで意見交換がなされます。そして、見学会は世界の原子力発電所「柏崎刈羽原子力発電所の視察」を計画しています。

長岡大会は上記のような内容で開催いたします。ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

大会スケジュールおよび行事開催場所

場 所		2, 3 F		2 F		2 F 特設 会場
		NCホール	白鳥の間 I	白鳥の間 II	柏	
日付・時間		NCホール		白鳥の間 I	白鳥の間 II	柏
9/25 (木)	9:30～12:00	基調講演				
	12:00～13:30	昼食・休憩				
	13:30～16:30		技術講演会 I (放射能/耐久性)	技術講演会 II (施工補修・補強/ 施工の合理化)	技術講演会 III (瓦礫処理・復興 材料/調査・診断)	パネル 展示
	17:00～18:00	特別講演会				
	18:20～20:30		懇親会 (2 F 白鳥の間)			
9/26 (金)	9:00～10:00	基調講演				パネル 展示
	10:20～11:40	パネルディス カッション				
	13:00～17:00	見学会：東京電力 柏崎刈羽原子力発電所内の施設				

主要行事

■技術講演会：9月25日(木) 13:30～16:30 論文・報告 33編 (論文は添付資料参照)

講演 I：放射能/耐久性(11編) 会場：白鳥東 [定員 160名]

座長 丸屋剛 (大成建設)・内藤英晴 (五洋建設)

講演 II：補修・補強/施工の合理化(11編) 会場：白鳥西 [定員 160名]

座長 竹田宣典 (大林組)・末岡英二 (東洋建設)

講演 III：瓦礫処理・復興材料/調査・診断(11編) 会場：柏 [定員 110名]

座長 栗田守朗 (清水建設)・羽瀧貴士 (東亜建設工業)

■基調講演：9月25日(木) 9:30～12:00 会場：NCホール [定員 400名]

(1)「福島第一発電所事故の汚染物質の処理。原発とエネルギー政策の今後」

講演者：丸山久一 (長岡技術科学大学 名誉教授)

(2)「わが国の防災・減災対策と社会資本の維持管理について」

講演者：野田徹 (国土交通省 北陸地方整備局長)

(3)「新潟県の土木行政を振り返って」

講演者：田宮強志 (新潟県前土木部長)

■特別講演会 (入場無料・一般入場可)：9月25日(木) 17:00～18:00 [NCホール、定員 400名]

講演者：稲川明雄 (河井継之助記念館館長、長岡郷土史研究会員) 主な著作「長岡城燃ゆ」、「長岡城奪還」、「風と雲の武士―河井継之助の士魂商才」、「山本五十六のことば」

演題：「連合艦隊司令長官 山本五十六の小が大を制すリーダーシップ」 戊辰戦争の悲劇「長岡藩」、長岡の歴史秘話と、山本五十六の人材育成術、人間性等を解説する。

■基調講演およびパネルディスカッション (入場無料・一般入場可)

日時・会場：9月26日(金) 9:00～11:40 [NCホール、定員 400名]

◆基調講演 (9:00-10:00)

テーマ：「地域防災～中越地震から東日本大震災まで～」

講演者：重川希志依 (常葉大学 教授)

◆パネルディスカッション (10:20～11:40)

テーマ：「中越地震から10年、これまでの活動と展望」

コーディネーター：丸山久一 (長岡技術科学大学 名誉教授)

パネラー：山口壽道 (中越防災安全推進機構 事務局長)、重川希志依 (常葉大学 教授)、丸山結香 (マックスゼン・パフォーマンスコンサルタンツ代表取締役)、和田日朗 (開発技術コンサルタント)、渡辺千雅 (月刊マイスキップ代表)

■パネル展示(入場無料・一般入場可) 9月25日(木) 10:00～18:00、9月26日(金) 9:00～12:00

会場：ホテルニューオータニ 2階メイン会場向かい 内容：参加各社による展示・技術紹介セッション

■見学会：9月26日(金) 13:00 ホテルニューオータニ発。東京電力柏崎刈羽原子力発電所。参加費 3,000円

Aコース：原子力発電所内の防潮堤から防護区域内施設などについて見学、先着順 80名様限定。

Bコース：原子力発電所内の防災設備、防潮堤などバスで見学～朝日山酒造のRC造酒蔵。

(Bコースはサービスホールでの説明と施設のバス見学で、発電社内でのバス下車が不可)

■懇親会

日時・会場：9月25日(木) 18:20～20:30 ホテルニューオータニ 2階 [白鳥の間]

参加費：7,600円

■CPDS

本大会はJCM ((一社)全国土木施工管理技士会連合会) 認定のCPDS講習会 (9ユニット) です。